

# 【新着資料案内】

この資料は、平成10年1月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用ください。

行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111 (内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)	
<b>中央省庁関係</b>				
茨城県の人口 平成7年国勢調査	総務庁	行政情報目録 平成9年度	水戸市	
社会生活統計指標 1998	〃	市民所得 平成6年度	〃	
全国消費実態調査 平成6年 08 茨城県	〃	北浦町統計書 平成9年度	北浦町	
消費動向調査年報 平成8・9年版	経済企画庁	<b>都道府県等関係</b>		
学校基本調査報告書 平成9年度	文部省	わがまちわがむら100の指標	秋田県	
企業活動基本調査報告書 平成8年 第1~3巻	通商産業省	福島県年次経済報告書 1997年版	福島県	
特定サービス産業実態調査報告書 物品販賣業編	〃	群馬の県民経済計算 平成5年度	群馬県	
〃 情報サービス業	〃	神奈川県刊行物目録 平成8年度	神奈川県	
〃 広告業編	〃	工業統計調査結果報告 平成8年	〃	
〃 クレジットカード業	〃	新潟経済ノート'97	新潟県	
〃 エンジニアリング業	〃	とやまけんせいようらん 平成9年版	富山県	
〃 テニス場編	〃	給与と労働時間と雇用 平成8年版	福井県	
〃 機械設計業編	〃	京都府行政情報資料目録 平成9年10月1日現在	京都府	
〃 ゴルフ練習場編	〃	兵庫の工業 平成8年	兵庫県	
〃 結婚式場業編	〃	和歌山県の工業 平成8年	和歌山县	
運輸白書 平成9年度	運輸省	毎月勤労統計調査地方調査結果報告書 平成8年	鳥取県	
業務要覧 平成9年版	関東運輸局	山口県の工業 平成8年	山口県	
郵便の統計 平成8年度	郵政省	香川県県民経済計算年報 平成5年度	香川県	
消防白書 平成9年版	消防庁	統計からみた'97福岡県のすがた	福岡県	
<b>茨城県関係</b>				
職員安全衛生管理の概要 平成8年度	職員課	福岡県県民経済計算報告書 平成5年度	〃	
税務統計書、茨城県 平成8年度	税務課	長崎県勢要覧 平成9年版	長崎県	
市町村計画策定の手引	地方課	熊本県の経済 平成5年度	熊本県	
地盤沈下調査報告書、茨城県 平成8年度	環境対策課	<b>会社・公社・団体等</b>		
霞ヶ浦関係資料集 平成9年3月	霞ヶ浦対策課	地理統計要覧 1998	二宮書店	
茨城県の精神保健 平成8年度版	保健予防課	データブック 1998	〃	
業務報告書 平成8年度	工業技術センター			
農業研究所研究報告 第4号	農業研究所			
農業研究所年報 平成8年度	〃			

## 物価調査と新米主婦

日立市総務部総務課 主事 鈴木由紀

市役所に入所し、総務課に配属され4年目が過ぎようとしております。庶務統計係は現在7名。その名のとおり統計のほかにも選挙事務、庁舎管理等様々な業務を遂行しております。そんな中で私は、今回はじめて県消費者物価調査、加えて全国物価統計調査を担当することになったのです。

県消費者物価調査の調査員は5名。最初は何も分からずに、調査票を見てもただの数字の羅列としか思えず、また、この物価調査というものが私たちの生活にどれくらい関わっているものなのか、正直私には????でした。

それでも、いつも元気いっぱいのパワーあふれる調査員さんたちの励ましと、少しずつ調査に慣れてきたこと、そして昨年の11月結婚をしたことで、私の物価調査に対する認識も変わっていったのです。

調査票に“○○が全地区仕入安”と書いてあれば、なるほどスーパーに行ってもそのとおり、いつもより安かったり。逆に野菜がどこへ行っても高いなあと思っていると、調査票の方も仕入高で全体的に値上がりだったり。

旅行先のオーストラリアでも、思わずスーパー・マーケットに行き（何も買わないのに……）お店の端から端までチェックした私。野菜もお肉も、もちろん日本とは売っている種類は違ったけど、その大胆な売り方に驚いたり、「やっぱり全般的に日本よりも物価は安いかなあ」なんて思ったり。日本がちょうど全国物価統計調査の時期だったの

で（担当でありながら私はこの時期長期休暇をいただいておりました。係の皆様ゴメンナサイでした）オーストラリアでも似たような統計調査あるのかなあなんて考えたりもしました。

全国物価統計調査の調査員さん、指導員さんは皆さんベテラン主婦。いろいろな話をする中で、“さすがだなあ”と感じることが沢山ありました。「良いものを安く買う」皆さん、本当に買い物上手なのです。

一方、新米主婦の私はと言えば、スーパーのチラシをよく見ていかなかったから大失敗してしまったり、まだ家にあるものをまた買ってきてしまったりと反省の連続。最近は、チラシをよく見てから買い物に行くようになりました。そんな私を横目に主人は苦笑い。休日はあちこちのお店へとつきあわされるのです。

最初は数字の羅列と思っていた調査票も、今では奥の深いものと感じられるようになり、この物価調査というものがどれだけ私たちの生活に必要であるかが分かってきたところです。

家事はまだまだ未熟ですがそれでも負けず、スーパーのチラシを片手に新米主婦は今日も行くのあります！

# 経済動向

## 国内の動き

### ● 公的年金20-30歳代の半数が「期待していない」

20-30歳代の半数は老後の所得として公的年金に期待していない。日本経済新聞社が実施した全国世論調査でこのような結果が出た。

調査では、公的年金を老後の所得の柱と考える人は55%だった。一方、預貯金や株式・債権など個人の貯蓄を老後の所得として重視する割合は23%だった。年齢別にみると、「公的年金に期待するか」の問い合わせに対し、50歳代の45%、60歳代の58%が「老後所得の柱として期待する」としたの

### ● 2010年の建設業就業者数 最大で26%減少

労働省が試算した2010年の産業別就業者数の将来予測が明らかになった。高齢化の進展で日本の労働力人口（15歳以上の就業者数と失業者数の合計）は2005年をピークに減少に転じ、2010年には現在（97年11月の季節調整値）より107万人少ない6,661万人になるとしている。

産業別の内訳では、製造業は生産活動が拡大するものの、生産性の高い精密機械、電気機械などの比重が高まるため、現在より11.4%少ない1,259万人に落ち込む。また建設業は9.0%減、卸売・小売業・飲食店は7.5%減とそれぞれ減

### ● 1-3月期マイナス成長に

日本経済研究センターが28日まとめた「超短期経済予測」によると、98年1-3月期の実質国内総生産は前期比0.4%減、年率換算で1.7%のマイナス成長になる見通しだ。昨年11月の相次ぐ大型金融破綻後の消費者や企業心理の冷え込みが尾を引き、国内需要が低迷するため、民間住宅投資は底打ちして5・四半期ぶりにプラスの伸びに転じるもの、個人消費は0.2%減少する。民間企業設備投資も

に対し、20歳代の56%、30歳代の49%は「期待しない」と答えた。若年世代は4割が預貯金や株・債権など個人貯蓄を所得の中心にすると答え、公的年金を当てにしていない。

少子・高齢化の加速で年金財政は今後、一段と厳しさを増す。将来の給付・負担に関しては「現行の給付水準を保つために保険料の上昇はやむを得ない」が49%を占め、「給付水準の引き下げで対応」とした回答を12ポイント上回った。  
(1月16日付 日経)

少する見通しだ。これらの主要産業で減少した雇用を吸収するのがサービス業で、現在より35.2%増加し、2,262万人に達すると予測している。

ただ、試算のように順調に労働移動が進むかどうかは不透明だ。特に景気の影響を受けやすい建設業の就業者数について、労働省は現在よりも最大約26%減少し488万人に落ち込むと予測している。サービス業が2010年までにそれを補う大幅な就業者増を達成するには政府の一層の努力が必要であると言えそうだ。  
(1月24日付 日経)

0.6%減と、3・四半期ぶりに減少する。公共事業を示す公的固定資本形成については、10-12月期、1-3月期ともにマイナスの伸びを予測している。

同センターでは「金融安定化策などの景気対策で経済が大きく下振れすることはないが、回復力が弱い状態が当面続く」と指摘している。  
(1月29日付 日経)

## 県内の動き

### ● 97年県内新車登録5.2%減

茨城県自動車販売店協会がまとめた茨城県内の97年新車登録台数は171,540台で、前年に比べ5.2%減となった。4年ぶりに減少に転じたもので、93年と同レベル。特に消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が現れた昨年4月以来の9カ月間は、過去10年間で見ても最低の台数で、最近の自動車販売の苦境を裏付けた。

97年の登録台数は前年より9,340台も少なく、最近のビ

### ● 97年分地価税 申告税額8.5%減

水戸税務署が23日発表した茨城県内の97年分地価税申告状況によると、県内の申告税額は3億8,700万円と前年に比べ8.5%減少した。税額算出の基準となる路線価の下落が続いたことが主因。

県内の申告件数は、117件と前年比3.5%増加した。このうち法人は104件で7.2%増加。一部で基礎控除額の引き下げがあったことで申告対象の法人が増えた。引き下げがなかった個人は13件と18.7%減少した。

申告税額の内訳でも、法人は3億7,400万円と前年比

一クである90年に比べると2割近くの減少となった。内訳は普通乗用車46,538台（6.5%減）、小型乗用車68,419台（4.9%減）、軽自動車19,803台（3.2%減）などだった。

特に昨年4-12月は合計115,089台が登録したが、前年同期に比べて14,000台以上減っていた。過去10年間で初めて12万台を割り込んだ。  
(1月9日付 日経)

7.7%減だったが、個人は1,300万円と27.8%の大幅減となつた。

課税対象となった土地等の面積は7.7%増の806万1千平方メートル。課税税額は5.9%減の4,661億円となった。

地価税は路線価などを基準に課税評価額を決めており、保有する土地の合計価額が基礎控除額を超える個人や法人が課税対象となるものであるが、98年度税制改正で課税停止が決まっている。  
(1月24日付 日経)

# ふるさとおもしろ統計学

## チョコレート

## 水戸の年間購入額は全国一

あす十四日はバレンタインデー。もう立場の男性はもちろん、プレゼントする女性も何となくそわそわしていることでしょう。たとえ義理チョコだと分かっていても、甘いものが嫌いでも、もらえるとうれしいし、逆にもらえないと心の中でがっかりしたり…。

一言にチョコレートといっても、キティちゃんなどのキャラクターを全面に出したものや、ゴディバなどの高級チョコ、ハンカチがついているものなど多種多様、値段の方もピンからキリまで。人込みをかき分け、人気の商品に手を伸ばし「どうしてこんなに込んでるの?!?」と思いながらも、毎年毎年、長蛇の列に並んでいる人も多いのではないでしょうか。

総務庁の「平成8年家計調査」の結果によると、水戸市の一世帯あたり年間チョコレート購入額は4,886円で日本一。全国平均※3,345円の約1.5倍にもなります。

これは、ただのチョコレート好きが多いからでしょうか。それともバレンタインデーに買う人が多いからでしょうか。

ここで、全国と水戸市の購入額を月別に比較してみましょう。グラフで平成8年の月別購入額をみると、水戸市はすべての月において全国を上回っています。

バレンタインデーのある平成8年の2月はどうでしょうか。全国平均897円に対し、水戸市はその1.3倍の1,191円。こちらも水戸市は上位、全国5位になっています。

ということは、水戸市は「自分で食べたい！」チョコレート好きはもちろん、プレゼントのためチョコレートを購入する人も多いと言えるのではないでしょうか。

本来、バレンタインデーは愛する人に贈り物をする日ですが、ふだんお世話になっている人にも、ぜひこの機会に〈気持ちを込めて〉贈り物をしてみてはいかがでしょうか。

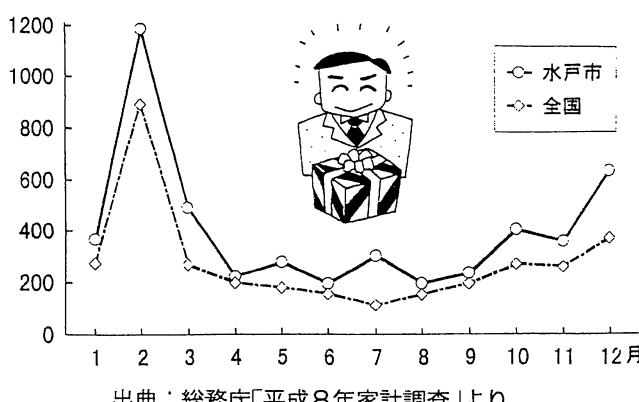
※全国平均は47都道府県所在市、川崎市、北九州市の平均。

(ただし、東京都は二十三区) (県統計課)

平成10年2月13日掲載

円/世帯

平成8年 チョコレート購入額の比較



出典：総務庁「平成8年家計調査」より

※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

## 母親の家事の値段

## 男性はもっと家事に協力を

私たちのお母さんは、毎朝早くから、炊事に洗濯、掃除と忙しく働いています。本当にご苦労さまであります。これらの家事、介護、育児、買い物など、いわゆる「家事労働」は、家族のために無償で行われる労働であり、これを「無償労働」といいます。ただ、収入を伴わないため、今までお金に換算して評価されることはなかっただけのことです。

これらの家事労働をお金に換算すると、はたしていくら位になるのでしょうか。今回は「機会費用法」といい、家事労働をしている時間をもじりで働いていたと仮定すればいくら稼げたかを計算する方法により、本県の家事労働評価額を推計してみましょう。

これによると平成3年における本県全体の家事労働評価額は2兆578億円となっています。平成3年度における県内総生産が10兆1,128億円ですから比率にして、20.3%を占めることになります。これは、女性が多くを担っている家事の大きさを改めて浮き彫りにしています。

それでは、家事労働の年間一人あたりの評価額を男女、仕事の有無別にみてみましょう。働いている男性は約27万円に対し、働いている女性は男性の約4.9倍の約132万円、働いていない、いわゆる専業主婦は男性の約6.5倍の約176万円にもなっています。なかでも働いている女性は、仕事と家事の両方をこなさなくてはならず負担が大きくのしかかっています。またグラフが示すとおり、特に25~44歳の働いていない女性一人当たりの家事労働は、家事や育児、さらに老親の介護等のために実に300万円を超えてします。

今日、男性も家事、育児、介護などをもっと積極的に分担していくことが、女性の負担を軽くし、社会参画をうながすためにも求められているのではないでしょうか。

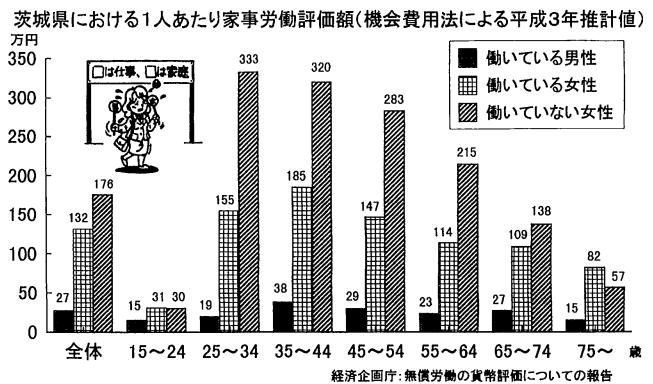
※平成3年における茨城県全体の家事労働評価額2兆578億円は以下のように計算しました。「家事労働の評価額」＝「家事労働時間」×「時間当たり賃金」

家事労働時間：「社会生活基本調査」(総務庁統計局)から

時間当たり賃金：「賃金構造基本調査」(労働省)から

(県統計課)

平成10年2月27日掲載



## 統計資料コーナーをご利用ください

統計資料コーナーでは、県をはじめ国、他の都道府県、市町村等で作成、刊行している各種統計資料を中心に、各種白書、年鑑などを多数取り揃えています。

どなたでもお気軽にご利用下さい。統計相談窓口も開設しています。

### 〈開室時間〉

月～金 9：00～17：00

(12：00～13：00 昼休み)

### 〈場 所〉

水戸市三の丸1-5-38

茨城県庁 本庁舎地下1階

電話 029-221-8111 (内線2238, 2239)



### 編 集 後 記

今、水戸の偕楽園では梅まつりが開催されています。しかし、私は花粉症のため観梅することができません。

東京都が実施したアンケートの結果では、約57%の人が花粉のアレルギーに悩まされているとのこと。今年も、花粉症と一緒に梅が去ってゆくのです。

(D S)

### 統計いばらき

1998.3 No.527

平成10年3月発行

編集兼発行／茨城県企画部統計課

茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市三の丸1丁目5番38号

電話 029-221-8111(内線)2651・2652

029-221-5505(直通)

FAX 029-228-0961

印刷所／富士オフセット印刷株式会社